

令和5年度生野区区政会議 第2回まちの未来部会

番号	質問者	ご質問等	資料ページ	回答
1	塚本委員	◇国際文化交流事業について 食を通じた国際文化交流とは何か。	令和6年度 生野区運営方針（素案） 【資料2】8ページ	本事業は、国（内閣官房）の枠組である「万博国際交流プログラム」を活用していく事業となります。このプログラムは、地域住民と万博参加国の関係者等が、地方公共団体の事業（イベント等）を通じて継続的に国際交流をしていくというもので、生野区においては、多文化共生のまちであるという特色を活かした交流イベントを事業者提案により実施する予定です。
2	塚本委員	「空き家や空きスペースを活用したにぎわいの創出」について、具体的な事例などを知りたい。	生野区将来ビジョン 2023－2026 （35ページ）	生野区内には、大阪市空家利活用改修補助事業（地域まちづくり活用型）により空家を活用した新たな居場所が創出されています。具体的には、生野東3丁目にある「はたけもり（畑×ICT）HATALab×COMELab」では、いろんな人が集まり、新たなチャレンジができる実験場として、巽西1丁目にある「きたつランド」では、ボランティアスタッフと一緒に勉強したり、遊んだりすることができる子どもの居場所として活用されています。 また、生野区役所では、民間事業者と連携した空家活用促進事業業務委託として、空家利活用の促進に向けて空家所有者の掘り起しや、空家活用への理解促進の取組みを進めているところでございます。今後も、民間事業者と連携して生野区内の空家や空きスペースを利用したにぎわいの場づくりなど、まちの活性化に向けて様々なにぎわいを生み出す取組みを進めてまいります。